

「10フランの幸せ」ALBUM発売記念

with 中牟礼貞則 guitar

小林洋子 piano

小美濃悠太 contrabass

※マスクの着用を必ずお願いいたします。

※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2022 05月08日 (日)

開場 14:30

開演 15:00

(2ステージ入替無)(1drink=600~)

MC=3700+2drinks order

CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



中牟礼貞則

1933年鹿児島県出水市に生まれる。'52年、青山学院在学中からジャズ・ギタリストとして活動を開始。日本に黎明期のボサ・ノヴァを紹介、普及させた。2012年で活動60周年、80歳を越えて、現在も現役のトッププレイヤーであり、各地で演奏を続けている。

小林洋子

4歳の頃よりピアノのレッスンを始め、後にバロック及び現代音楽に関心を持つようになる。東京音楽大学ピアノ科にて鈴木恭代氏、弘中孝氏に師事、その頃よりJazz Improvisation (即興)、Composition (作曲)に興味を持つ。また、指揮法を山本直純氏、森正氏に師事、そして作曲家・三枝成彰氏のアンサンブルレッスンの専属ピアニストを務める。卒業後、ジャズピアノを幸島文雄氏に師事、ライブハウス、ジャズクラブ等を活動の場として、自己のTRIOを結成し、オリジナル曲を中心に活動を開始する。2001年、ファーストアルバム『LITTLE THINGS』をリリース。吉野弘志 (b)、堀越彰 (ds) 2005年に鈴木徹大 (gt) とのDuo『LITTLE THINGS II』を発表。2008年より同Duo<B・B・STREEP>を軸としてトリオ、カルテット、クインテットでの活動も始動。著書に「クラシック・イン・ジャズ」2巻・3巻 (共著)があり、「コンテンポラリー・ジャズピアノ」3巻 (中央アート出版)にも協力している。2012年初頭、右手に経験したことのない違和感を覚える。同年、完治は難しいとされる難病「音楽家のジストニア」Musician's Dystoniaと診断されるも、2018年7月にライブ復帰を果たす。現在もリハビリは続いている。同年The Third Tribeドラマー池長一美氏とのDUOユニットを結成し、2019.05.01「Nearly Dusk」(Time Machine Record)をrelease。2020年秋、初のsolo album「BEYOND THE FOREST」をリリース。また、新たに自己のカルテット (小林洋子 pf 多田誠二 as 加藤真一 ds 角田健 ds)を結成し、2020年11月より始動する。

小美濃悠太

1985年、東京生まれ。一橋大学社会学研究科修了。幼少の頃より続けていたエレキトーンを通じてジャズに出会う。高校に入学後、ジャズを演奏できる楽器を習得するために吹奏楽部に入部。コントラバスとエレキトックベースを平行して学ぶ。大学進学後、千葉大学モダンジャズ研究会に入部。本格的にジャズを学び始める。在学中から演奏活動を開始し、現在は東京を中心に主都圏全域で活動している。ジャズのフィールドにとどまらず、ポップスやミュージカルなど、幅広い分野で活躍している。ジャズベースを山下弘治氏、アルコ奏法を高西康夫氏、斎藤輝彦氏に師事。